

地誌 第21回 「ヨーロッパ地誌②～EUについて～」

○今回のポイント

EUは、経済的利益による市場統合から、ヨーロッパの政治的な統合へと発展した。

1. 国境を越えて結びつくヨーロッパ

統合が進むヨーロッパ

○EU…【① ヨーロッパ連合】

- ・単一通貨ユーロ
- ・国境管理の廃止⇒加盟国市民の自由な移動
- 関税の撤廃 ⇒商品移動を容易に

経済的な共通の利益を追求することで、政治的な統合と経済的な統合という二つの柱をもつ強大な政治・経済圏を作り出す！

EUの誕生と統合への歩み

1948

【② ヨーロッパ経済協力機構】(OEEC)…西欧 18 か国によるマーシャル=プラン受け入れ機関

1950

【③ シューマン=プラン】

独仏両国の対立を防ぐため、両国の石炭・鉄鋼を共同利用することを提唱

1957

【④ ローマ条約】

ECSC を経済の全分野に拡大しようとする条約

1952

ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体

【⑤ ECSC】

1958

ヨーロッパ経済共同体

【⑥ EEC】

1958

ヨーロッパ原子力共同体

【⑦ EURATOM】

1967

【⑧ ヨーロッパ共同体】(EC)

- ・関税同盟
- ・商品、資本、労働力の自由移動
- ・共通農業政策

「インナー6」
仏・西独・伊
ベネルクス3国
(ベルギー・オランダ・ルクセンブル)

1960

対立

ヨーロッパ自由貿易連合【⑨ EFTA】

欧州統合に反対する英が経済連合を提起。英は仏の反対により EEC に加盟させてもらえなかったため、EFTA を創設した。だがイギリスは途中で脱退して EC に加盟。
現在は、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインの 4 か国で構成されている。

1973

拡大 EC

英の EC 加盟に反対していたド=ゴールが退陣し、イギリスが加盟。

【⑩ 1973】…イギリス・アイルランド・デンマーク

1981…ギリシア 1986…スペイン・ポルトガル

1994

EEA【⑪ ヨーロッパ経済領域】

EU の域内市場と NAFTA 諸国へ拡大。これによって世界最大の市場が形成された。

1993

ヨーロッパ連合(EU) ←【⑫ マーストリヒト条約】(1991)

・共通安全保障政策、地方参政権の付与、欧州議会など。

・1995 奥、フィンランド、スウェーデン

・1999 【⑬ EMU】(経済通貨同盟)⇒2002 ユーロ流通開始

EU【⑭ 27】か国体制

○バルト三国、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー、スロベニア、マルタ、キプロス(2004)

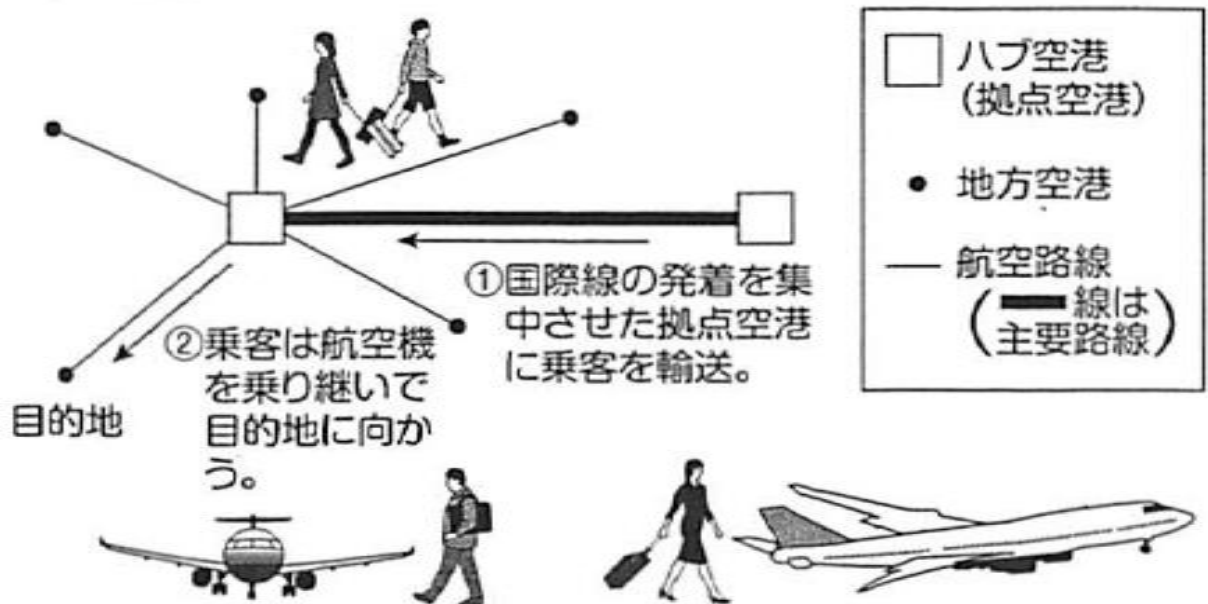
○ブルガリア、ルーマニア(2007)

2. 活発に行き来する人やもの

国境を越える人やものの移動

- ⑮ シェンゲン 協定(1995)…1995年に発効。EU加盟国のうち22か国(2010年3月)は国境管理を廃止し、人の移動の自由化に踏み切る。
- ⑯ エラスムス 計画…EUの発展には将来を担う若者をヨーロッパ市民として育成する必要があるとの考えから1980年に発足。「大学生移動のためのEU行動計画」のことで、EU域内の大学生は、域内の他の国の大学に留学して単位をとることが認められる。
- ⑰ バカンス の移動…長期休暇には、冷涼な北部から温暖なスペイン・イタリア・ギリシャなどの地中海沿岸に多くの人が移動する。
- ⑱ ハブ空港 …地域の拠点空港のこと。国際航空路線は、各空港を直結便で結ぶ方式から、主要路線によって結ばれるハブ空港とハブ空港からの路線(スポーク路線)が通じる地方空港に分けて運行するハブ&スポーク方式に再編されつつある。EUでは、オランダのアムステルダムやドイツのフランクフルトなどが有名。

●ハブ空港



低くなる壁 高くなる壁

国境の廃止と移動の自由の実現

☆新たな問題☆

- (1) バルカン半島、アフリカ、中東の紛争地域から逃れてくる難民の保護と、彼らの流入に対する管理。
- (2) 入国許可を得ずに働きにくる労働者や不法入国を斡旋する業者への対策
- (3) 異なる民族や異質な文化との共存

☆⑲ 新保守主義 の台頭☆

南北問題が解決されず、地域紛争が頻発するようになった20世紀末から、ヨーロッパに流入する外国人や難民が増える

各国で、⑳ 右派勢力 が台頭し、移民排斥運動などが激化。